



笑顔！松本だより

自ら、そして仲間と、
未来をたくましく生きる力を身につける子

福井市松本小学校 学校だより
令和7年6月11日 第3号
TEL 22-8813 FAX 22-8892
Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp

縦割り活動、ペア学年交流がスタートしています！

4月より、6年リーダーを中心とする全学年で構成された「ふれあい班」による縦割り活動「ふれあいタイム」が本格的に始まっています。4月の1回目は、自己紹介やミニゲームで仲良くなるところからスタートしました。5月に行った2回目は、教室だけでなく体育館やグラウンドも使った活動となりました。私はいろいろな班の活動を見ていたのですが、中でも体育館2階で活動していた班の様子を見ていて、リーダーの心配りや言葉がけに感心しました。その班は全員で『だるまさんがころんだ』の遊びをしていました。伝統的な遊びですが、みんながルールを守ってこそ「楽しい遊び」になります。ここで私が聞いた、リーダーの声かけを紹介します。

(最初に)「動くとき、気をつけてね。転ばないようにね。」

「おにになった子が『だるまさんがころんだ！』と言い終わったら、ピタッと止まるんだよ。止まらなかった子には、6年生が合図をするからね。」

(途中で)「水分補給をしようか。水筒のお茶を飲みましょう。」

(最後に)「みんな、楽しかったですか？」

(みんなからの「はい！」の声に応じて)「よかったです！」

少しですが、紹介しました。ケガをしないようにと思う優しい声かけ、客観的に判断することで、皆が安心して参加できるようにと思う冷静な声かけ、楽しかったことをみんなで共有しようと思う明るい声かけです。

この、「相手のことを思い、それを言葉にして伝える」という6年生たち

の声かけ。「思いを受け取り、みんなで楽しく活動した」班全員の子どもたち。まさに「自分を信じ、相手を大切にしてくる。自分の考えを互いに伝え、みんなで失敗を恐れず挑戦する。そして、仲間と協働して感動する」営みが、目の前で展開されていました。



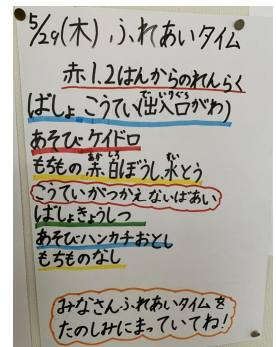
ペア学年交流では、5年生は3年生と、4年生は2年生と、6年生は1年生と交流します。5年生と4年生にとっては、自分たちが上級生として活動するまたとない機会です。本当にすごいと感じるのですが、子どもはその機会が巡ってくると、「小さい学年のことを考え、思って活動する」ことを、どんどんやり始めるのです。そこには、6年生がいてくれる時の表情や態度とは違う、りりしい5年生や4年生の姿がありました。

このような縦割り活動やペア学年交流を通じて、松本っ子の「あこがられる・あこがれる」関係はどんどん広がり深まっています。



6/2 今年度も「朝礼で」伝えます！松本っ子と職員に伝えたいこと…

全校朝礼は、月に1回(ない月もあります)行っています。暑い時や寒い時などは TV 放送にすることもあります。この機会、私にとっては月に一回の「全校朝の会」だと思っています。だから、子どもたちや職員に「伝えたい！」と思って伝えますし、できるだけ子どもから(時には職員からも)その



場で声を聞くようにしています。

6月朝礼のテーマはズバリ、『考える清掃』。松本っ子が普段掃除をしている教室や廊下に見立てようと、いろいろな小道具も準備しました。「考える清掃って、どんな清掃だろう」を体育館に集まっている全員に考えてほしくて、語りかけました。



「ぞうきんのふき方。ふき始めるスタートは、どこからが正解だろう。」を、2つの例を実演して、子どもたちにどちらが正解かを答えてもらいました。端っこからふくのが、もちろん正解です。正解の方にみんなの手が挙がりました。でも、実際の清掃の時間では、端からふかずに途中からスタートしてしまっている様子が見られます。

そこで「なぜ、端っこからふくといいの？」と尋ねました。すると子どもたちからは「端っこにゴミがたまっているから！」と、口々に答えが返ってきました。そうなのです。子どもたちと一緒に考え、「ぞうきんは、床をふくためだけでなく、ゴミを一カ所に集めるためと、ふたつの働きがある」ことを確認しました。そして、ぞうきんという道具の役割を考えて清掃を行うこと、どうやったら清掃場所がきれいになるか考えて行うことが、『考える清掃』なのだということも確認しました。

他にも、水をまくタイミングについて考えたり、階段のふき方について考えたり、ぞうきんだけでなくほうきやちりとり、黒板消しなどの「道具」も、どう使うと効果がアップするかみんな考えたりして、6月の「全校朝の会(朝礼)」を終わりました。

清掃活動は、特別な行事ではなく、日常の活動です。でもだからこそ、『考える』ことで「たくましく生きる力」をつける要素はたくさんあると感じます。また、本校の清掃はふれあい班(縦割り)で行っています。清掃からキャリア教育へ、ポジティブ教育へ。その意識をもち、清掃を「主体的」そして「つながる」活動にしていきたいです。



4月から6月、先生の週案から ～子どもも大人も「主体的」「つながる」～

先生たちは、毎週月曜の朝に「週案」(1週間の予定を記したものを)を提出します。今年度も楽しみに読んでいますが、そこから少し紹介します。 ○各先生コメント →校長より返事

- 4/14 今週から理科の実験を行います。安全管理を徹底しながら、しっかりと実験を成功させようと思います。(HK先生)
→安全の上に全ての教育活動が成立します。となると、「事前準備の大切さ」につながりますね。
- 4/21 (児童支援部のリーダーとして)支援の先生や出入りの先生方も含め、みんなで子どもたちを見ていき情報交換しながら、子どもたちを支えていきたいです。プロジェクト会議(職員会議の前に行う)でも、保健室や通級、各学年のことも共有していきたいです。(SN先生)
→様々な人から支えられていくことが、長い目で見た時に、様々なことに対応できる人を育てていくことにつながるのですね。「この人でないと」ではなく、「この人とも、そしてこの人とも関わっていく経験を通じ、様々なつながることができるようになった」の子どもに、ぜひ育てていきたいです。
- 5/12 学年で、総合について話し合いました。何をしてみたいか意見を出してもらったところ、たくさん出てきました。特に、「松本地区」「生き物」の意見が多かったです。子どもたちの意見から、よりよいものにしていきたいです！(OS先生)
→それは面白そうなテーマが出てきましたね。さすが松本っ子です！これらをどう学びにつなげるか。めあてとしてどんな力をつけるか。我々教員も学び続けましょう！
- 6/2 今年度の個人研究のテーマを「意見共有やペア・グループ活動によって学びを深める授業作り」としました。普段の授業から意識して取り組んでいきたいです。ロイロノートの効果的な使い方も考えていきたいです。(NM先生)
→「意見共有やペア・グループ活動によって学びを深める職員室作り」と、このようにも置き換えられます。まさしく、子どもの学びと大人(教師)の学びは相似形ですね。
- 6/2 4年と2年のふれあい集会では、2年生がにっこにこの笑顔で楽しんでいる様子が見られ、4年生がこれまで企画・練習してきたこと全てが実った時間となりました。なかよしの子たちも、それぞれが充実した活動になったようで、これを次の学習へとつなげていきます。振り返りの時間には、自分が頑張ったことだけでなく、今後こんな風に関わってみたいという言葉が出てきて、うれしかったです。(SM先生)
→本当に素晴らしいことです！「自分を振り返って認める」「成果から次の自分をイメージする」。このことは、未来をたくましく生きる力に直結します！

